



小布施町
社会福祉協議会

社協報

福ちゃん

2025

8月

第138号

7/9

ひとり暮らし高齢者交流会「なごみ会」で 舞響太鼓 雅さんが生演奏

目の前で演奏される太鼓の音は腹の底まで響いてくる大迫力。参加者の太鼓体験や雅さんのテンポの良い進行で観客席も一体となって大いに盛り上がり、最後まで手拍子の絶えない会となりました。

太鼓の一打に、拍手が響く
心を重ねる共鳴のひととき



目次

- 2P 支え合いまちづくりレポート
- 3P 車いすでの外出をサポートします！
- 4P お買い物外出ツアー
在宅介護者のための交流会
- 5P 障がい者希望の旅
小布施見にマラソン de 日本赤十字社広報活動
- 6P 『あそびばおしゃべりば』のご案内
“ゆるっとカフェ”の開催
「日赤活動資金」「社協会費」ご協力のお礼
小布施町社協へのご寄付のお礼





小布施町支え合いまちづくりレポート vol.42

“わたしの「好き」”から広がる 支え合いの居場所

～音楽でつながる 居場所～

出張音楽カフェ 始めました

「カエルのうたが～♪」初めての出張音楽カフェが町デイサービスセンターで開催され、手ぶりを交えた合唱が響きました。これは、音楽好きな仲間が集まり、得意なことを活かして「おぶせ音楽カフェ～楽しい音♪～」を定期開催している小喜楽会の活動です。

会場では、利用者のみなさんからのリクエスト曲が流れ、目を閉じて聴き入る人、笑顔になる人、手拍子をする人など、それぞれの楽しみ方で音楽に触れていました。模造紙に書かれた大きな歌詞を見ながら懐かしい歌を口ずさむ一幕もあり、心躍る時間をみんなで分かち合いました。

今後は、みなさんの身近な会場でも開催できるよう準備を進めています。

町の各地区では、気軽に集える「お茶のみサロン」などの居場所が開催されています。こうした居場所に参加することは、生きがいや健康づくりにつながるだけでなく、顔見知りが増えることで、地域での支え合いの輪を広げるきっかけにもなります。

今回は、“わたしの「好き」”から生まれた、新たな居場所の活動をレポートします。



生活支援コーディネーター：神田



おぶせ音楽カフェ～^{たの}楽しい音^ね～ 定期開催のお知らせ

日付 8/23^土、9/19^金、10/20^月、11/15^土、12/13^土、2/2^月、3/2^月

時間 午後1時30分～3時

場所 千年樹の里 健康福祉センター

※参加費**無料**、申し込み**不要**です

※町内にお住まいの方ならどなたでも参加できます

おでこポイント
対象事業



～健康麻雀を通した 居場所～



健康麻雀で笑って打って、自分もみんなも元気に！

マーチャン会

町健康麻雀同好会のサポートをいただきながら7月から「マーチャン会」が本格的に始動しました。健康麻雀で頭の体操をするだけでなく、ラジオ体操や身体をほぐす時間も設け、全身の健康を目指しています。

参加者の中には、娘さんが手配してくれた麻雀卓をきっかけに、小さな支え合いの居場所として会で知り合った仲間を自宅に招き、新たな健康麻雀を始めた方もいます。

マーチャン会は、参加をきっかけに知り合い、お互いに声をかけ合い、支え合える仲間が集う会へと育っています。

車いすでの外出をサポートします!

小布施町には、車いすでの外出をお手伝いする制度や支援サービスがあるのをご存じですか。
今回は、社協が行っている**車いすで乗降可能な福祉車両**を使用した事業についてご紹介します。

福祉バス運行サービス事業（町からの委託事業）

自宅で生活し、常に車いすを使用されている高齢者や障がい者等の通院や外出の**送迎**をします。



利用の流れ

利用申請

町地域包括支援センター
または町高齢者福祉係へ

町の審査 利用決定

利用の予約

町社協へ連絡
(希望日の5日前までに)

利用当日

福祉バスで送迎

利用対象者 (町内に在住)

- ① 車いすを使わないと移動が困難で、一般の車両では外出が困難な方
- ② 自家用車等の手段がない高齢者のみの世帯の方で、移動するのに介助が必要な方

送迎可能な範囲

隣接する市町村でおおむね片道 30 分以内

利用日時

平日の午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

利用料金

車いす利用者【住民税非課税】

町内…1 回 100 円
町外…1Km につき 20 円
(100 円に満たない場合は 100 円に切り上げ)

車いす利用者【住民税課税】

町内…左記金額にプラス 500 円
町外…左記金額にプラス 1,000 円



その他

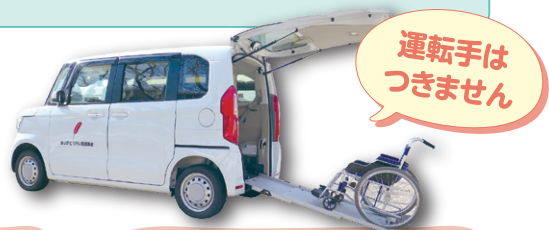
- ・生活保護受給者は免除
- ・付添人 1 人以上が必要
- ・タクシー券との併用はできません

町ホームページ▶



福祉車両貸出サービス事業（福祉基金事業）

車いすを使用しなければ外出できない方に福祉車両の**貸し出し**を行い、通院や買い物、レジャー等に積極的に参加する機会づくりをお手伝いします。



利用の流れ

利用申請

町社協窓口へ

車両貸出許可書

町社協より発行

利用の予約

町社協へ連絡
(希望日の7日前までに)

利用当日

運転免許証の確認および
アルコールチェック後に福祉車両貸し出し

利用対象者

- ① 町内にお住まいの高齢者や障がい者、傷病等で車いすを必要とする方
- ② 車いすを必要とする方の町内にお住まいのご家族（車いすの方が町外在住でも OK）
- ③ 社協法人会員

利用料金

無料（走行距離が 20km を超えた場合はガソリンを補充して返却）

運転者

利用者から依頼を受けた 3 年以上の運転経験がある方

期間

1 泊 2 日まで（12/29～1/3 は貸し出しできません）

車種

赤い羽根共同募金配分車 ホンダ N-BOX（軽自動車）
※社協法人会員は日産キャラバン（リフト車）も貸し出し可能

町社協の事業以外にも、**介護つき送迎事業**を行っている事業者や、**福祉車両を配備しているタクシー事業所**があります。
詳細は町地域包括支援センター（☎242-6680）や町社協（☎242-6665）へお問い合わせください。

デイサービス発！

お買い物外出ツアー

～「外出したい」「お買い物したい」という思いに応えて～



町デイサービスセンター

6/16日～22日

綿半スーパーセンター中野店



ツアーの申し込みから「あんた行くの?」「一緒に行こうよ!」と利用者さん同士で会話が弾み、当日も「去年買ったファイルを買った」と目的を決めていた方、予定外のお花を買った方、ボランティアさんと相談しながら選

ぶ方など、それぞれのペースで買い物を楽しみました。ボランティアさんからも「お手伝いできて良かった」「話しながら買い物できて楽しかった」と、交流の喜びの声が聞かれました。



デイサービスセンター花の里

7/14日～19日

ドラッグコスコ小布施店

日頃、コスコで買い物をしているボランティアさんの「こちらのほうが良いかもしれませんね」といった親身なアドバイスに、利用者さんからは「心強いね」と安心の声が聞かれました。ボランティアさんも「品物を

選ぶ様子を見るとみなさんお元気ですね」「お手伝いできることが楽しいから参加しています。私たちが元気になりますよ」と、活動を通してみなさんが生き生きとされていました。



お買い物外出ツアー は、単なる買い物に留まらず、利用者さんの生きがいづくりや、ボランティアさんとの温かい交流の場となっています。10月に町デイサービスセンターで「おでかけツアー」を企画しています。一緒にでかけていただける **ボランティアさんを募集** しています。

7/8

在宅介護者のための交流会

～ピラティスと茶話会で笑顔のひととき～

自宅で介護をされている方々を対象に、交流とリフレッシュを目的とした「在宅介護者のつどい」を開催しました。介護度や居住地を問わず、ピラティスと茶話会で楽しいひとときを過ごしました。

初めてピラティスを体験する方もいる中、講師の松下喜代美さんが丁寧に指導。ビリー・ジョエルの『Honesty(オネスティ)=誠実・正直・素直』に合わせ、「自分に嘘をつかない」「頑張りすぎない」といった介護者へのメッセージが込められました。脳トレやリラックス効果も期待でき、3回ほど曲にあわせて体を動かすと、血行が促進され、みなさんの表情もスッキリとしました。

茶話会には松下さん、保健師、ケアマネジャーも参加し、日頃の介護の悩みや気兼ねない会話で盛り上がりしました。「知らない人とも話が弾んだ」との声もあり、普段なかなか話す機会のない介護者のみなさんにとって、貴重な交流の場となりました。



7月
15・16
(1泊2日)

障がい者希望の旅

夏を観る・体験する新潟めぐりの旅

遠方への外出が難しい障がいのある方とそ
のご家族、ボランティアさんが参加して新潟め
ぐりの旅へ出かけました。

道の駅ながおか花火館では、ドームスクリー
ンで大迫力の長岡花火の映像を鑑賞。「人が多
く集まる場所へはなかなか行けないが、リク
ライニングシートでストレスなく楽しめた」と大好
評でした。

燕市産業史料館でのタンブラー鋳目入れ体
験では、「銅をたたいて模様を入れるのはスト
レス発散になった」との声も聞かれました。他
にもイヨボヤ会館や朝日酒造、藤次郎オープ
ンファクトリーなどを見学し、お土産を買ったり、
参加者同士の交流を楽しみました。

参加者からは「この旅行だから出会える人が
いる。お互いに理解し支えあって楽しむことが
できる」「車いすでも参加できてありがたい。
明日からまた頑張ろうと思えた」など、1泊2日
の旅を通して多くの喜びの声が寄せられました。



参加者全員で記念撮影



視覚に障がいがある方も凹凸を指先で
確認しながら模様を入れることができた
鋳目入れ体験



職人の伝統技術と機械化した工場を見学

7月
12・13
日

小布施見にマラソン de

日本赤十字社広報活動



日本赤十字社は、国内外での災害救護をはじめ、困
難な状況にある人々を救うため、幅広い分野で活動して
います。この活動を一人でも多くの方に知っていただく
ため、小布施見にマラソンに合わせて7月12日、13日に日
本赤十字社ブースを設置し、広報活動を行いました。

ブースでは、活動を紹介するパネルや、実際に避難
所で配られる救急セットなどを展示。また、マラソン当

日には、災害時に被災地で活躍する柔道整復師会日本
赤十字奉仕団から柔道整復師が参加し、足がつったり
肉離れなどで医療的ケアが必要なランナーの身体を診
て、ケアやアドバイスをしました。

参加された多くのランナーや応援の方々に日本赤十
字社の活動へのご理解とご協力をいただきありがとうござい
ました。

ご案内

『あそびばおしゃべりば』開催します

日時 9/6(土) 午後1時～4時(出入り自由)

場所 千年樹の里健康福祉センター

内容 TVゲーム、ボードゲーム・カードゲーム(UNO、カタンなど)、バレーボール、お絵描き、おしゃべり、おやつ作り、運動スペース(室内:床卓球、ボール遊びなど)、大人のしゃべりば(大人だけで話せる別室)

・参加費無料
・申込み不要

「自分のペースで誰かと過ごせる場に」という思いで始まった『あそびば・おしゃべりば』は、今回で4回目を迎えます。町の不登校を考える親の会「和の会」と、長野市で居場所を運営する「いばしょ

コーラル」が中心となり、小布施町子ども家庭支援センターと町社協が協力して運営しています。学校に行っている、いないに関わらず、誰もが一緒に安心して過ごせる場を目指しています。

自分の気持ちを受け止めてくれる人
と一緒にすごしたいな…



いばしょコーラル

不登校やひきこもりを経験した人たちを中心に活動中。おしゃべりしたり、ゲームしたり、自由に過ごしませんか。



X アカウント

このモヤモヤを話せたらなあ…
私、どうしたらいいの…



和の会 (不登校を考える親の会)

親同士がつながるために活動しています。悩む親子が孤立しないことを願っています。会って話せたらうれしいです。



X アカウント

● あそびばおしゃべりば お問い合わせ



認知症になっても安心して暮らせる町を目指して

“ゆるっとカフェ”を開催します ～注文をまちがえる料理店プロジェクト～

日時 9/21(日) カフェ営業 午前10時～12時

場所 千年樹の里健康福祉センター

主催 チームゆるっと

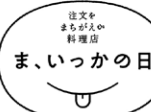
問合せ・申込み 町社協 ☎242-6665 ※町報にも掲載

※詳細は全戸配布チラシをご覧ください。

予約制



予約は
こちらから



9月21日の「世界アルツハイマーデー」に合わせ、認知症の状態にある方がホールスタッフを務めるイベント型レストラン「注文をまちがえる料理店 ま、いっかの日」が全国各地で開催されます。

町では、千年樹の里健康福祉センターで「ゆるっとカフェ」を開店します。たとえ注文を忘れてしまったり、料理が間違えて運ばれてきたりしても、ホールスタッフもお客様も、誰もが思わず笑顔になれる。そんな温かいカフェに、ぜひお越しになりませんか。

令和7年度「日本赤十字社活動資金」「社会福祉協議会会費」へのご協力ありがとうございました (R7.7.31時点)

日本赤十字社活動資金 560,912 円

いつ起こるか分からない災害に備え、災害救護・被災者支援や防災教育などに活用されます。

ご協力いただいている企業様 ※順不同

(有)オプセ牛乳・(株)栗庵風味堂・(株)イマイ企画
(株)桜井甘精堂・(株)きりはら心斎館
(株)システムアプリケーション・DMノバフォーム(株)

社会福祉協議会会費 2,951,000 円

社会福祉協議会会費は、福祉車両の貸し出し、福祉の広報活動、ボランティア支援など、さまざまな地域福祉活動を推進するための事業経費として活用します。

法人会員様 ※順不同

(福)えがお・(福)くりのみ園
ヒューマンヘリテージ小布施・ワークホームみすみ草



小布施町社協へのご寄付のお礼

ご芳志に対し、厚くお礼申し上げます。

・匿名様 50,000 円